

一般財団法人秋田県総合公社 令和4年度事業報告

I 経営概況

令和4年度は、第2期「中・長期経営計画」の2年目でありました。初年度に引き続き、基本姿勢として3つのC（変化（Change）、創造（Creation）、連携（Cooperation））を意識しつつ、顧客志向のキャッチフレーズ「あなたの笑顔をサポートします」に則って、積極的に事業活動を展開いたしました。

令和元年度末から拡大した新型コロナウイルス感染症が恒常的な蔓延状態となったため、令和4年度も参加者の施設利用や公社の施設運営は大きな制限を受ける結果となりました。しかし、公社全体としては、これまでの経験を踏まえた各種対策や感染防止に向けた利用団体とのきめ細かい調整などにより、前年度以上の利用者数を確保することができました。

一方で、原油価格をはじめ世界的なエネルギー価格の高騰と円安等の影響を受けて、各施設の光熱費は前年度比で大幅な増加となり、公社の経営に大きな負担が生じ、その対応に苦慮した1年間でもありました。

1 公社の指定管理業務

あきた芸術劇場ミルハスは令和4年6月にオープンし、9月にはホールを含めた全施設が利用可能となるグランドオープンを迎えることができました。旧県民会館閉館から4年間、多くの県民が待ち望んだ芸術文化施設であったことから、開館後は、大ホール、中ホールを中心に高い利用率となっております。



（6月に行われた開館記念公演）

県立体育館は天井改修工事のため長らく閉館しておりましたが、工事が完了した令和5年2月以降は施設利用を再開しております。秋田県から管理等を受託している他の施設（環境保全センター、県立武道館、県立総合射撃場、向浜スポーツゾーン、県立中央公園及び循環器・脳脊髄センター）についても、年間を通じて適切な施設管理を実施いたしました。

2 あきた芸術劇場オープン後の概況

AAS（公社（代表）、秋田魁新報社及びスペースプロジェクトで構成する共同事業体）は4月に新設された劇場に事務所を移し、開館準備業務を進めてまいりました。9月23日のグランドオープンではピアニストの小山実稚恵さんと新日本フィルハーモニー交響楽団による特別公演が行われ、2,000人の観客が大ホールに響き渡るクラシックの演奏を楽しみました。

下半期を通じて、大ホールや中ホール等は74%と高い利用率となりました。一方、練習室等の諸室の稼働率を高く想定していたため、収入は目標を達成したものの、利用者数合計は227,807人となり目標30万人は達成できませんでした。

日常の運営管理に加えて、県市との連絡調整会議を2回、アドバイザー会議を2回開催して、さまざまなご要望やご意見の反映にも務めました。

3 光熱費の高騰と施設管理への影響

エネルギー関連経費の高騰は公社施設の運営に大きな影響を及ぼしました。電気料と燃料費を合わせた経費は当初予算額を大きく超えたため、年度末に大幅な増額補正予算を組まざるを得ませんでした。

各施設では燃料の値上がり前の発注、使用時間と使用量の見直し、空調設備の稼働時間の短縮、プールの水溫調節や施設内の小まめな消灯など考え得る限りの工夫と節約に努めました。一方で、秋田県に対して度重なる支援要望を行い、結果的に、各施設合計で1,646万円の補助金が支給されました。

4 新型コロナウイルス感染症の影響と対応

新型コロナウイルス感染症は年度末には終息の兆しが見え始めましたが、通年では公社の活動に大きな影響を与える結果となりました。しかし、国や県の指示を遵守しつつ、公社全体で統一的な感染防止対策を実施しながら感染状況に応じた適切な施設運営に努めた結果、令和元年度と比較して利用者数は79%、事業収入は90%まで回復いたしました。



(夏休み！キッズチャレンジスポーツ 2022

※令和3年度中止)

公社の自主事業も、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて80事業の内13事業を中止せざるを得ませんでした。令和4年度は計画した78事業のうち、4事業の中止に止めることができました。

5 人材確保の努力及び人材育成を目指した研修の実施

能力ある社員の確保と在籍する社員の資質向上は、公社の自立的経営に不可欠です。学卒者の新規採用は見送りましたが、公社内の契約社員から限定社員への無期転換などにより人材の確保を積極的に図りました。

令和4年度からは体系的な研修計画に則り、在籍年数や階層に合せて研修を計画し実施いたしました。中堅社員向けの次世代リーダー研修を継続するとともに、新たに、全社員向けに接遇研修を、総合職社員向けにコンプライアンス研修を実施し、公社が求める「顧客志向の人材」の育成を図りました。

6 SDG s 活動と健康経営への取組み

公社は、令和3年10月に秋田県SDG s パートナーへ登録した3目標に加えて、独自に6目標を設定して合計9つのSDG s 活動を展開しており、社員全員によるSDG s バッジ着用や施設内へのSDG s 目標の掲示などにより、社員の意識喚起に努めております。加えて、令和4年度は環境保全センターの処理水を活用したビオトープ池を調査し、生物調査報告書を作成し、公表いたしました。



(秋田県SDG s ロゴマーク)

また、「健康経営優良法人」及び「秋田県版健康優良法人」に認定された法人として、社員の健康管理を経営上の重要課題と位置づけ、健康経営宣言に基づく経営の推進に積極的に取り組みました。

II 重点戦略に対する取組み

1 施設管理・利用促進に向けた管理業務のレベルアップ

(1) 施設の安全管理とサービス向上

- ① あきた芸術劇場ミルハスはオープン以降、想定外の課題が頻発いたしました。ひとつひとつに社員が真摯に対応し、その原因を把握し、対応を工夫することで、確実に課題を解決してまいりました。

催事終了時の一斉退出に伴う、駐車場における渋滞の発生に対しては、入庫時の駐車料金事前精算制の導入などにより大きく緩和させることができました。大ホールでの催事の際に発生する館外までの入場者の列についても、エスカレーターの利用方法やチケットもぎりの場所の変更などの工夫により、大きく改善することができました。

- ② 令和3年度のプロジェクトチームで運用を開始したドローンは、施設管理部が機器と操縦者を一括で管理することにより、高所施設のチェックや記録撮影に機動的に活用できるようになりました。令和4年度の活用実績は16回となり、前年度の2回から大幅に増加しました。



(有資格社員によるドローン操作の様子)

- ③ お客様のご意見やご提案を汲み取り、管理運営に反映させるためにアンケートを各事務所で収集しております。収集枚数は938枚となり、前年度1,065枚より12%減少となりました。体育館が10ヶ月間閉場となったことと、射撃場ではリピーター利用者が多く新規アンケートの収集が難しかったことなどが原因と考え

ております。いただいたご意見、ご提案や苦情については毎月経営幹部会議で公社全体の課題として共有し、遅滞なく適切に対応してまいりました。

（２）利用者の安全・安心の確保

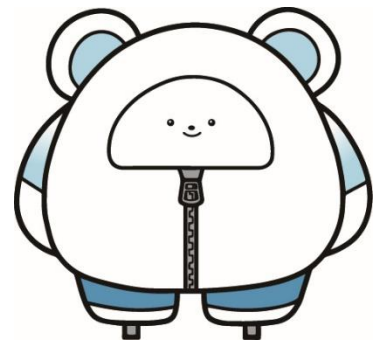
- ① 新型コロナウイルス感染症に関しては、施設ごとの対応に差異が生じないようにするため、運営本部事務局総務部より公社全体としての対応指示を文書で発出することにより、統一的な対応をしっかりと進めてまいりました。
- ② 公社では、ＡＥＤの操作及び不測の事態に早期対応できるように、社員全員に普通救命講習や上級救命講習の受講を勧めておりますが、令和４年度は残念ながら、教示する側の秋田消防署署員が新型コロナウイルス感染症対応で繁忙となり、受講機会を設定できませんでした。令和５年度以降も引き続き、受講機会を設定し、利用者の安全・安心の確保に努めてまいります。

（３）施設の利用促進

- ① 令和３年度プロジェクトチーム活動の成果として、ドローンを積極的に活用し、県立総合射撃場では家族対抗ビームライフル大会を新たに企画して開催するなどにより、利用促進を図りました。

また、ＳＮＳ利活用促進プロジェクトでの検討成果を受け、公社の公式Instagramの運用を決定し、全事務所向け利用講習会を開催した上で、利用促進に向けた情報発信としてのInstagramの活用を開始いたしました。

- ② 築後５１年を迎え老朽化が目立ってきた県立スケート場をデザインの力でブラッシュアップするため、公立美術大学附属高等学校と連携し、県立スケート場デザインプロジェクトを展開いたしました。「秋田の冬」をテーマとした生徒の絵画を喫茶コーナーへ展示し賑やかさを演出したほか、生徒の考案したスケート場のオフィシャルキャラクター案について来場者投票を実施し、「かまくまくん」を選定いたしました。



（「かまくまくん」 磯田莉乙さん制作

秋田公立美術大学附属高等学校３年生）

（４）施設管理の効率的な運営・総合管理

- ① 施設の安全管理と長寿命化に繋げ、修繕費の効率的な活用を目指すため、県に対して中・長期的修繕計画の提案を行ったほか、ドローンを活用した高所部分の点検などにより、施設全体の適正な維持管理に努めてまいりました。
- ② 県立野球場（こまちスタジアム）の土と芝の管理を適正な時期に自前で実施できるように、「緑の安全管理士」資格を１名に追加取得させました。

また、各事務所における施設賠償責任保険などの事務手続きや会計処理手続きを円滑に行うため、総務部主催で先輩社員が講師となり、採用3年以内の総合職社員に対して、会計業務等勉強会を開催いたしました。

2 自立的経営の推進

- ① 県立中央公園の運動広場では、秋田県と秋田県サッカー協会との協定に従い、2分の1が人工芝化され夜間照明も整備されたことにより、積雪時を除いた冬期の11月、12月、3月の利用や夜間利用が可能となり、利用者数が前年度より4,417人増加しました。



(人工芝化された県立中央公園運動広場)

- ② 新たな施設の受託を各種営業活動に利用するため、公社全体を紹介するパンフレットを新たに作成しました。あきた芸術劇場ミルハスの情報や公社社員の採用情報も掲載し、公社の活動を相手側に説明しやすい内容としております。更に、三つ折りパンフレットも記載内容を更新して改訂いたしました。
- ③ 新県立体育館についてはPFI手法での建替が検討されているため、秋田県が主催し、秋田銀行が事務局を務める「公民連携プラットフォーム」に参加し、積極的に情報収集に努めております。また、滋賀県と宮城県のアリーナ施設を視察し、運営事業者等と情報交換を実施いたしました。

3 人材の計画的な育成と確保

- ① 令和4年度より体系的な研修計画に則り、受講者を指定する「育成研修」、社員の自発的受講を促す「選択研修」及び資格取得・更新等の「業務関連研修」に分類し、必要な研修を適切に受講できる体制といたしました。

また、集合研修以外にe-ラーニングも新たな研修手法として導入いたしました。業務時間内に自席で受講できるよう受講環境と条件を整備して募集しましたが、5名のみの受講者に留まっております。来年度は更に受講しやすい環境や条件の整備を検討してまいります。

- ② 令和4年度は延べ52名の社員が公社の公的資格取得支援制度を活用し、公認トレーニング指導士や第三種電気主任技術者など難易度の高い資格のほか、危険物取扱者乙種や消防設備士乙種などの需要の多い資格も取得しております。

4 業務効率化

- ① 公社内の業務効率化を目的としてデジタル化の取組を開始しました。各部・各事務

所にヒアリングし、対象となり得る業務やデジタル化すべき業務を選定し、内容を精査した上で優先順位を定めて、令和 4 年度下半期からデジタル化に取り組みました。

環境保全事務所では、FAQ（よくある質問集）を作成しウェブ上に掲載することで、産廃事業者が搬入前に持ち込み可否についてスマートフォンで確認できるように改善いたしました。

また、令和 4 年度から順次、県立武道館、県立体育館、向浜スポーツゾーン施設（県立総合プール等）及び県立中央公園の利用予約をネット上で可能とする予約システムを導入する計画を立案いたしました。このうち県立武道館については、令和 5 年度夏の導入を目指し令和 4 年度から検討に取りかかっております。



（公社公式Instagramに掲載した
環境保全センターFAQの紹介画像）

- ② 導入済みのグループウェアである Garoon システムの電子掲示板を活用して、公社内へ情報を周知する機能を追加し運用を開始しました。また、本部への決裁文書を事務所から持参することなく、本部決裁が可能となるように、電子決裁機能を活用した手続きとルール作りを進めております。

5 多様な働き方により能力を発揮できる職場環境の整備

- ① 「秋田県健康経営優良法人」の認定を受け、引き続き、ワークライフバランスの充実等を目指した健康経営を進めてまいりました。なお、日本健康会議が主催する「健康経営優良法人」の認定については、制度変更に伴い中小規模法人基準に公社が合致しなくなったことから、同 2023 への申請を取りやめました。
- ② 法令改正により義務化されたパワーハラスメントの防止に向けた取組として、全社員に向けたパワーハラスメント防止研修を 3 回実施いたしました。123 名の社員が受講し、公社全体でハラスメント防止に向かう意識の共有を図りました。

6 社会貢献事業の実施

- ① 環境保全事務所が中心となって 3 年ぶりに開催された「あきたエコ&リサイクルフェスティバル」に参加し、循環型社会へ貢献している企業として活動内容や施設内ビオトープの生物調査報告書を紹介いたしました。

また、県立中央公園が中心となり国際教養大学など周辺 6 機関と 2020 年度に設立した



（雄和椿川地区熊対策協議会
下草刈りの様子）

「雄和椿川地区熊対策協議会」では、一齐に下草刈りや雑木伐採を行って見通しを改善することによって、クマ被害の未然防止に努めました。

- ② 秋田市の中心市街地に立地するあきた芸術劇場ミルハスでは、文化施設としての本来の利用に加え、蓮まつりライトアップの時間に合わせた開館時間の延長や、向かいの秋田市文化創造館と連動した「OTONARI さんプロジェクト」の開催などにより、街の賑わいづくりに貢献いたしました。

Ⅲ 定時評議員会及び理事会の開催

第1回理事会	令和4年5月25日
定時評議員会	令和4年6月15日
第1回臨時理事会	令和4年6月15日
第2回理事会	令和5年3月28日

Ⅳ 指定管理施設の利用実績

各施設の利用目標に対する実績は次のとおりです。

施設区分		R4 目標 (イ)	R4 実績 (ロ)	目標達成率 (ロ) / (イ)
環境保全	秋田県環境保全センター	37,000	65,794	177.8%
文化	あきた芸術劇場ミルハス	300,000	227,807	75.9%
体育	秋田県立体育館	1,600	2,199	137.4%
	秋田県立武道館	213,000	138,223	64.9%
	秋田県立総合射撃場（ライフル射撃場）	2,000	2,314	115.7%
	秋田県立総合射撃場（狩猟技術訓練施設）	800	730	91.3%
	秋田県立総合プール	128,500	109,952	85.6%
	秋田県立野球場	95,000	74,830	78.8%
	秋田県立向浜運動広場	24,000	21,530	89.7%
	秋田県立スケート場	63,000	59,048	93.7%
公園	秋田県立中央公園	496,000	546,966	110.3%
合計（体育・公園施設）		1,023,900	955,792	93.3%
合計（文化・体育・公園施設）		1,323,900	1,183,599	89.4%

※注：単位について、秋田県環境保全センターは産業廃棄物の処分量（トン）、その他施設は利用者数（人）

V 事業の実施実績

1 施設管理運営事業

秋田県等から公の施設の管理運営指定や業務委託を受け、効率的かつ効果的な施設運営と利用者サービスの向上に努めました。

(1) 指定管理者制度による施設の管理運営事業

区分	施設名称
環境保全施設	秋田県環境保全センター
体育施設	秋田県立体育館、秋田県立武道館、秋田県立総合射撃場、秋田県立総合プール、秋田県立野球場、秋田県立向浜運動広場、秋田県立スケート場
文化施設	あきた芸術劇場ミルハス
公園施設	秋田県立中央公園

(2) 施設設備管理業務等に関する業務受託事業

区分	施設名称
医療施設	秋田県立循環器・脳脊髄センター、秋田県総合保健センター
環境保全施設	能代産業廃棄物処理センター

2 文化・スポーツ普及振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

（新型コロナウイルス感染症拡大等により中止した事業については「中止」と記載）

(1) 文化普及事業

秋田県立体育館や秋田県立武道館において、芸術文化に親しむことにより人々の日常生活が豊かになるよう、鑑賞の機会や活動団体の交流の場を提供したほか、生涯学習に資する各種教室の開催等を行いました。

実施施設	内 容	開催時期（期間）及び参加者数（延べ人数）
秋田県立体育館	【文化育成事業】 ・陶芸教室 ・フェイクスイーツ教室（写真①） ・シュガークラフト教室	8月11日 24人 7月・8月 30人 1月 8日 10人
秋田県立武道館	【文化育成事業】 ・夏休みクレイクラフト教室 ・バルーンアート教室	7月31日 9人 12月18日 1人

秋田県立武道館	【伝統文化継承事業】 ・初心者太鼓教室 5 回 ・書道教室 6 回 (写真②) 【文化育成事業】 ・ガーデニングを楽しむ	10 月～11 月 44 人 10 月～11 月 4 人
秋田県立中央公園		9 月 24 日 21 人



写真① フェイクスイーツ教室



写真② 書道教室

(2) スポーツ普及振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

スポーツ活動に対する県民ニーズに的確に対応し、施設の利用促進と気軽に楽しめる生涯スポーツやニュースポーツなどの普及・振興を図るため、次の事業を実施しました。

実 施 施 設	内 容	開催時期（期間）及び 参加者数（延べ人数）
秋田県立中央公園	【レクリエーション事業】 ・県立中央公園冬まつり 【スポーツ交流事業】 ・夏休み！キッズチャレンジスポーツ 2022	1 月 29 日 2,000 人 7 月 23 日 14 人
秋田県立野球場	【スポーツ交流事業】 ・第 9 回こまち杯争奪野球大会	10 月 23 日 90 人
秋田県立スケート場	【イベント等】 ・クリスマスフェスティバル ・バレンタインイベント	12 月 18 日 816 人 2 月 12 日 588 人

3 スポーツ振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

（新型コロナウイルス感染症拡大等により中止した事業については「中止」と記載）

秋田県立武道館において、各種武道教室や大会の開催、指導者の育成事業を開催するとともに、各武道団体の日ごろの修練の成果を発表する機会を設けるなど、武道の普及振興を図る、スポーツ振興事業として実施しました。

実 施 施 設	内 容	開催時期（期間）及び 参加者数（延べ人数）
秋田県立武道館	【スポーツ教室事業】 ・初心者柔道教室 6 回 ・初心者合気道教室 5 回 ・初心者銃剣道教室 5 回 ・初心者弓道教室 ・太極拳体幹運動教室 5 回 ・通年剣道教室 40 回 ・太極拳教室 10 回 ・親子スポーツチャンバラ教室 12 回 ・少林寺拳法で護身術体験教室 ・県立武道館施設探検ツアー ・第 15 回武道まつり in イオンモール秋田	5 月 35 人 10 月～12 月 44 人 7 月～ 8 月 5 人 中止 11 月～12 月 7 人 4 月～ 3 月 1,045 人 6 月～10 月 26 人 7 月～10 月 136 人 中止 9 月 23 日 8 人 1 月 9 日 3,300 人

4 芸術文化発信事業

新たにあきた芸術劇場ミルハスの事業として、県民が芸術文化に触れる機会を拡大し、国内外に秋田の文化や芸術を発信する事業を実施しました。

実 施 施 設	内 容	開催時期（期間）及び 参加者数（延べ人数）
あきた芸術劇場 ミルハス	【芸術性の高い公演や文化芸術を国内外に 発信する事業】 ・ニッセイミュージカル 「リトルゾンビガール」 ・ダンスイベント「秋田に咲くダンス展」 ・日本舞踊「弧の会」コノカイヤイズム 【県民市民が元気になる文化活動】 ・ピアノマラソン (写真③) ・音楽ワークショップ ・吹奏楽クリニック ・施設マネジメント研修 ・エントランスロビー公演 ・ミルハス施設見学会 【公演・伝統芸能の映像資料等のアーカイブ】 ・公演などの資料保存 ・アーカイブ展示	9 月 29 日 1,759 人 10 月 2 日 397 人 11 月 6 日 236 人 2 月 12 日 35 組 3 月 18 日 10 名 3 月 18 日 30 名 12 月 20 日 15 施設 3 月 18 日 130 名 1 月 14 日 120 名 通年 通年

あきた芸術劇場 ミルハス	【周辺施設と連携したにぎわい創出のための事業展開】 ・芸術文化ゾーンの歩き方 ・OTONARI さんプロジェクト（写真④） ・写真展「ミルハスインスタフォトコンテスト」	1月14日 25名 3月18日 400名
	- ミルハスの夏 2022 - ミルハスの秋 2022 - ミルハスの冬 2023（写真⑤） ・にぎわい創出イベント - ハスのフォトコンテスト （主催：秋田商工会議所） - 昭和の秋田写真展 （主催：J R秋田支社・岩田写真館・みずほ銀行） 【共催事業】 ・徳永英明プレミアムアコースティックコンサート ・読売交響楽団秋田公演 ・ウクライナバレエ「ドン・キホーテ」 ・私立恵比寿中学秋田分校 ・画狂人「北斎」 ・市川団十郎白猿襲名披露巡業	9月18日～10月14日 12月18日～1月8日 3月18日～3月28日 10月1日～11月1日 10月19日～10月26日 9月24日・25日 計4,000人 3月26日 4,000人 12月23日 2,000人 11月26日 2,000人 3月11日 800人 3月27日 2,000人



写真③ ピアノマラソン



写真④ OTONARI さんプロジェクト



写真⑤ ミルハスフォトコンテスト

5 収益事業

（新型コロナウイルス感染症拡大等により中止した事業については「中止」と記載）

施設の特性を活かし、収益性を考慮した付加価値の高いスポーツ教室やイベント等を開催し、スポーツ人口の増加や健康づくりの機会を提供しました。

「ノルディックウォーキング」については、発着地点を紅葉の季節に千秋公園地内とするなど、参加者の要望を取り入れながら開催しました。

実 施 施 設	内 容	開催時期（期間）及び 参加者数（延べ人数）
秋田県立体育館	【スポーツ教室事業】 ・シニアトレーニング 32 回 ・シニアエアロ 32 回 ・シニアヨガ 32 回 ・アクティブクラブ キッズ 32 回 ・アクティブクラブ ジュニア 32 回 ・ノルディックウォーキング 12 回 ・坐禅と写経の夕べ (写真⑥)	4 月～ 3 月 1,056 人 4 月～ 3 月 600 人 4 月～ 3 月 386 人 4 月～ 3 月 251 人 4 月～ 3 月 227 人 4 月～11 月 119 人 7 月 29 日 21 人
秋田県立武道館	【スポーツ教室事業】 ・健康応援教室 24 回 【イベント事業】 ・ベビーマッサージ教室&サイン教室 12 回 ・フラダンス教室 10 回 ・幼児教室 12 回 ・はじめての離乳食教室 2 回	4 月～ 3 月 1,609 人 6 月～11 月 188 人 6 月～10 月 53 人 6 月～11 月 338 人 6 月・ 9 月 6 人
秋田県立総合射撃場	【スポーツ教室事業】 ・ビームライフル射撃教室 12 回 ・岩城小学校ビーム射撃クラブ 8 回 【イベント事業】 ・ビームライフルランクリスト ・ビームライフルランクリストファイナル ・家族対抗ビームライフル射撃大会 2 回 ・ビームライフル・ピストル出前教室 1 回 ・ハンター射撃大会 (写真⑦)	4 月～ 3 月 53 人 5 月～12 月 80 人 中止 中止 8 月・ 1 月 30 人 5 月 89 人 5 月 22 日 12 人
秋田県立総合プール	【スポーツ教室事業】 ・ベビースイミング 8 回 ・キッズスイミング(水・木曜日) 各 30 回 ・ジュニアスイミング(水・木曜日)各 30 回 ・おとなのためのスイミング 30 回 ・ワンポイントレッスン 毎月 1～2 回 ・キッズサマースイミング 6 回 ・ジュニアサマースイミング 6 回 ・レッドシャークス ・長崎宏子の「SWIM TO SMILE！」 (写真⑧)	7 月～ 9 月 268 人 4 月～ 3 月 1,299 人 4 月～ 3 月 3,172 人 4 月～ 3 月 597 人 4 月～ 3 月 102 人 7 月～ 8 月 110 人 7 月～ 8 月 167 人 中止 7 月 30・31 日 101 人

秋田県立総合プール	・親子 de レスキュー	8月 6日	12人
	【イベント等】		
	・秋田県立総合プール施設探検ツアー	1月 29日	15人
秋田県立スケート場	【スポーツ教室事業】		
	・スケート初心者教室 6回	12月～ 2月	138人
	・キッズスケート教室 12回	11月～ 2月	114人
	・ジュニアスケート教室 12回	11月～ 2月	309人
	・ステップアップスケート教室 12回	11月～ 2月	126人
	・放課後スケートクラブ 12回	11月～ 2月	176人
	・冬休みスケート教室 6回	12月～ 1月	220人
	・個人レッスン 3回	11月～ 2月	3人
秋田県立野球場	【スポーツ交流事業】		
	・県民開放事業 10回	6月～10月	660人
秋田県立向浜運動広場	【スポーツ教室事業】		
	・向浜テニス教室 17回	5月～10月	402人
秋田県立中央公園	【レクリエーション事業】		
	・夏休み思い出作り隊	7月 30日	51人
	【スポーツ交流事業】		
	・ティーボール交流会	中止	
	・中央公園ウォーク	中止	
	・女子ミニバスケットボール交流大会	9月・1月	17チーム
	・SKY-Dリーグ交流会（小学生サッカー）	3月 21日	10チーム



写真⑥ 坐禅と写経の夕べ



写真⑦ ハンター射撃大会



写真⑧ 長崎宏子の SWIM TO SMILE !

6 施設連携事業

各事務所が連携した多種多様なイベントや研修を開催することにより、公社のPRと施設利用者の増加、施設の効果的な運営を図りました。

実 施 施 設	内 容
秋田県立総合プール、秋田県立向浜運動広場 秋田県立野球場、秋田県立武道館、 秋田県立総合射撃場	・ 向浜こどもスタンプラリー（5月5日） 89人（再掲）
秋田県立総合プール、秋田県立野球場、 秋田県環境保全センター、秋田県立総合射撃場	・ れっつ公社！！ツアー（8月12日） 12人（再掲）
秋田県立武道館	・ 事務所間交流研修（1月18日） 6人

7 企業等連携事業

企業、各種団体や地域団体へ魅力ある企画を提供し、社会貢献と企業等のイメージアップを図るため企業等連携事業を実施しました。

また、老朽化が目立ってきた秋田県立スケート場をデザインの力を借りて魅力アップさせるため、公立美術大学附属高等学院と連携して「県立スケート場デザインプロジェクト」を展開し、喫茶室への絵画展示や秋田県総合公社のオフィシャルキャラクターの制作を行いました。

実 施 施 設	内 容
あきた芸術劇場ミルハス	指定管理者として AAS 共同事業体（公社（代表）、（株）秋田魁新報社、（株）スペースプロジェクト）は文化団体、地元商店街組合や商工団体、更には特別協力企業である「わらび座」とも連携して、文化芸術を通じた秋田の元気の創造に寄与しました。
秋田県立中央公園、企画事業部	【夏休み！キッズチャレンジスポーツ 2022】 秋田ノーザンホップネット、秋田ノーザンブレッツ (7月23日) 14人（再掲）
向浜スポーツゾーン、秋田県立武道館 秋田県立総合射撃場（出前講習）	【向浜こどもスタンプラリー】（5月5日） 秋田県レクリエーション協会 秋田県ライフル射撃協会、秋田県弓道連盟 89人（再掲）
秋田県立武道館	【第15回秋田県武道まつり】（1月9日） 3,300人（再掲） 県内各武道（術）団体、イオンモール秋田
秋田県立総合プール	【県立図書館連携事業】（6月～2月） 秋田県立図書館

秋田県立総合プール	【長崎宏子の SWIM TO SMILE !】(7月30・31日) 秋田県、(有) ゲンキなアトリエ 101人(再掲)
秋田県立中央公園	【ミニバスケットボール交流大会】(9月・1月) 県内ミニバスケットボールスポーツ少年団 17チーム(再掲) 【星を見る会】(10月15日) 天文同好会「秋田星っ子の会」 26人 【SKY-Dリーグ交流会】(3月21日) 秋田県サッカー協会 10チーム(再掲) 【県立中央公園冬まつり】(1月29日) 秋田県レクリエーション協会 自衛隊秋田地方協力本部、秋田東警察署 2,000人(再掲)



向浜こどもスタンプラリー
スピードガン体験



県立中央公園冬まつり
凧揚げの様子

8 施設開放事業

どなたにも気軽に楽しく施設を利用していただくため、こどもの日やスポーツの日などの祝日やイベント開催時に、次のとおり施設の開放を行いました。

また、あきた芸術劇場ミルハスでは一般市民向けに「施設見学会」を行いました。

事業名	内容	開催時期(期間)及び参加者数(延べ人数)
無料開放事業	【祝日や記念日等の無料開放】 (秋田県立武道館・秋田県立総合射撃場・秋田県立総合プール・秋田県立向浜運動広場・秋田県立中央公園) ・こどもの日 ・県の記念日 ・スポーツの日	5月5日 4,773人 8月29日 594人 10月10日 602人

無料開放事業	【スケート場の開場日・閉場日等に合わせた無料開放】 ・オープンサービスデー ・クリスマスフェスティバル (再掲) ・ファイナルサービスデー	10月22日 347人 12月18日 816人 3月19日 672人
一般開放事業	【個人向け施設開放(有料)】(秋田県立体育館) ・スポーツを楽しむ日 29回	2月～3月 420人
団体開放事業	【団体向け施設開放(有料)】(秋田県立野球場) ・県民開放日 10回(再掲)	6月～10月 660人

9 広報事業

広報誌の発行やウェブサイトの活用などを通じて、芸術文化やスポーツ、レクリエーション等に関する情報提供を行いました。

事業名	内 容
広報誌発行	指定管理施設の状況や主催事業等を幅広く紹介するとともに、各施設の利用促進とスポーツの普及振興を図るため、「みんなのスポーツ・カルチャー」(春・夏号と秋・冬号計10,400部)を発行し、小中学校をはじめ県内各地域に配布しました。
公社営業用・人材募集用パンフレットの作成、3つ折りパンフレットの更新	公社の強みや取り組みを掲載した営業用パンフレットと、公社の業務内容や勤務条件、実際に勤務する社員の声などを掲載した人材募集用パンフレットを新たに作成しました。 また、あきた芸術劇場ミルハス開館に伴い、公社が管理運営する施設をまとめた3つ折りパンフレットも内容を更新して作成しました。
ウェブサイトの活用	公社の公式ウェブサイトを通じ施設の予約状況(貸館空き情報)のほか、主催事業のお知らせや各施設へのアクセス等について、情報発信を行いました。 ※ウェブサイトへのアクセス実績 令和4年度 304,923件 また、サイト上のブログを活用し、主催事業開催の様子など写真を多用しながらわかりやすく紹介しました。 ※ブログへのアクセス実績 令和4年度 135,162件 さらに、令和4年5月から公社の公式Instagramの運用を開始し、主催事業の様子や各施設周辺の景観の紹介などを行いました。 ※Instagramへのアクセス実績 令和4年度 6,377件
「週刊さがけスポーツコラム」への寄稿	令和3年度から継続して、「週刊さがけスポーツ」の「県内スポーツだより」に4月～3月の月1～2回、公社が管理運営しているスポーツ施設運営の苦労話や裏話、自主事業の話題などを寄稿しました。

ビオトープの生物調査 報告書の制作	環境保全センター内のビオトープを調査した上で生物調査報告書を制作し、あきたエコ&リサイクルフェスティバル来場者やれつつ公社!! ツアー参加者に公社の環境保全活動の成果として紹介しました。
----------------------	---

10 社会貢献事業

実 施 施 設	内 容
環境保全事務所	【第20回あきたエコ&リサイクルフェスティバル】(再掲)10月8日・9日 【アクセス道路の市道・古種沢川のクリーンアップ】 アクセス道路である市道のクリーンアップを月1回、処理水を放流する古種沢川の清掃を年1回実施し、周辺環境の保全に努めました。
向浜スポーツゾーン	【向浜スポーツゾーン地区クリーンアップ】4月18日、10月17日 環境意識の啓発活動の一環として、向浜スポーツゾーンエリアの施設や秋田県立総合プール等の委託業務を行っている秋田ノーミ防災(株)の社員の方々と連携して年2回実施しました。
秋田県立中央公園	【雄和椿川地区熊対策協議会による刈り払い】8月5日 中央公園事務所、株式会社雄和振興公社、公立大学法人国際教養大学など雄和椿川地区にある7機関で組織している「雄和椿川地区熊対策協議会」で、熊対策のために秋田県動物愛護センター横の林の刈り払いを実施しました。 また、中央公園事務所主催事業開催時に、協議会のブースを設け、パネルで活動紹介や熊の剥製など展示しました。また、熊への注意喚起を目的としたティッシュペーパーを作成し、公園利用者に配布しました。

11 その他関連事業

商品販売及びサービス提供等に関する事業として、施設利用者の利便性向上を図るため、次の事業を実施しました。

事 業 名	内 容
ユーザーサービス事業	秋田県立循環器・脳脊髄センターにおける洗濯機等の設置
喫茶ホール	秋田県立スケート場における喫茶ホールの営業のほか、秋田公立美術大学附属高等学院と連携し、「秋田の冬」をテーマとした生徒の絵画展示
自動販売機サービス事業	環境保全施設、文化施設、体育施設、公園施設における自動販売機等の設置
にぎわい創出事業	綿あめ機・ポップコーンマシーンを活用し、自主事業時に販売



県立スケート場喫茶室 絵画展示



向浜こどもスタンプラリーでの
綿あめ販売

12 秋田県出資法人等の連携に関する事業

秋田県出資法人等の社員・職員採用における公正・透明性確保を目的として、公募による共同採用試験を実施しました。

事業名	内容
公募制共同採用試験	○第1回共同採用試験 実施内容 第1次試験（7月10日） 第2次試験（8月16日～18日） 参加法人 3法人（関係出資法人等の総数21法人） 採用予定 12名 第1次試験受験者 28名一倍率2.3倍— 最終合格者数 6名 最終倍率 4.7倍 ○第2回共同採用試験 実施内容 第1次試験（10月16日） 第2次試験（11月8日～10日） 参加法人 7法人（関係出資法人等の総数21法人） 採用予定 23名 第1次試験受験者 72名一倍率3.1倍— 最終合格者数 22名 最終倍率 3.3倍